

—ONWARD—

2024年2月期（2023年度）上期
決算説明資料



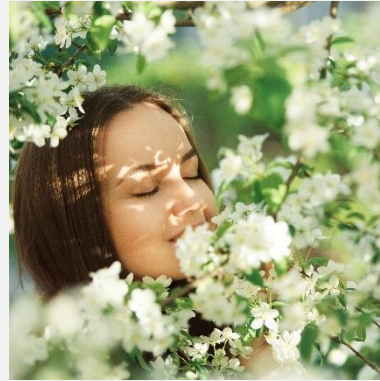
2023年10月5日

株式会社 オンワードホールディングス

オンワードグループのミッションステートメント

ホ シ

ヒトと地球に潤いと彩りを



01	連結実績および連結業績予想ハイライト	4
02	2023年度上期 連結実績	11
03	2023年度通期 連結業績予想	14
04	財務状況	17
05	人的資本経営への取り組み	20
06	サステナブル経営への取り組み	23
07	TOPICS	26
08	補足資料	30



動く。すべての人に、機能美を。

UNF/LO

<https://unfilo.com/>

01

連結実績および連結業績予想
ハイライト

売上高

904億円

前年同期比 +10.0%
+82億円

営業利益

50億円

前年同期比 26.0倍
+48億円

経常利益

44億円

前年同期比 6.7倍
+38億円

当期純利益

29億円

前年同期比 6.0倍
+24億円

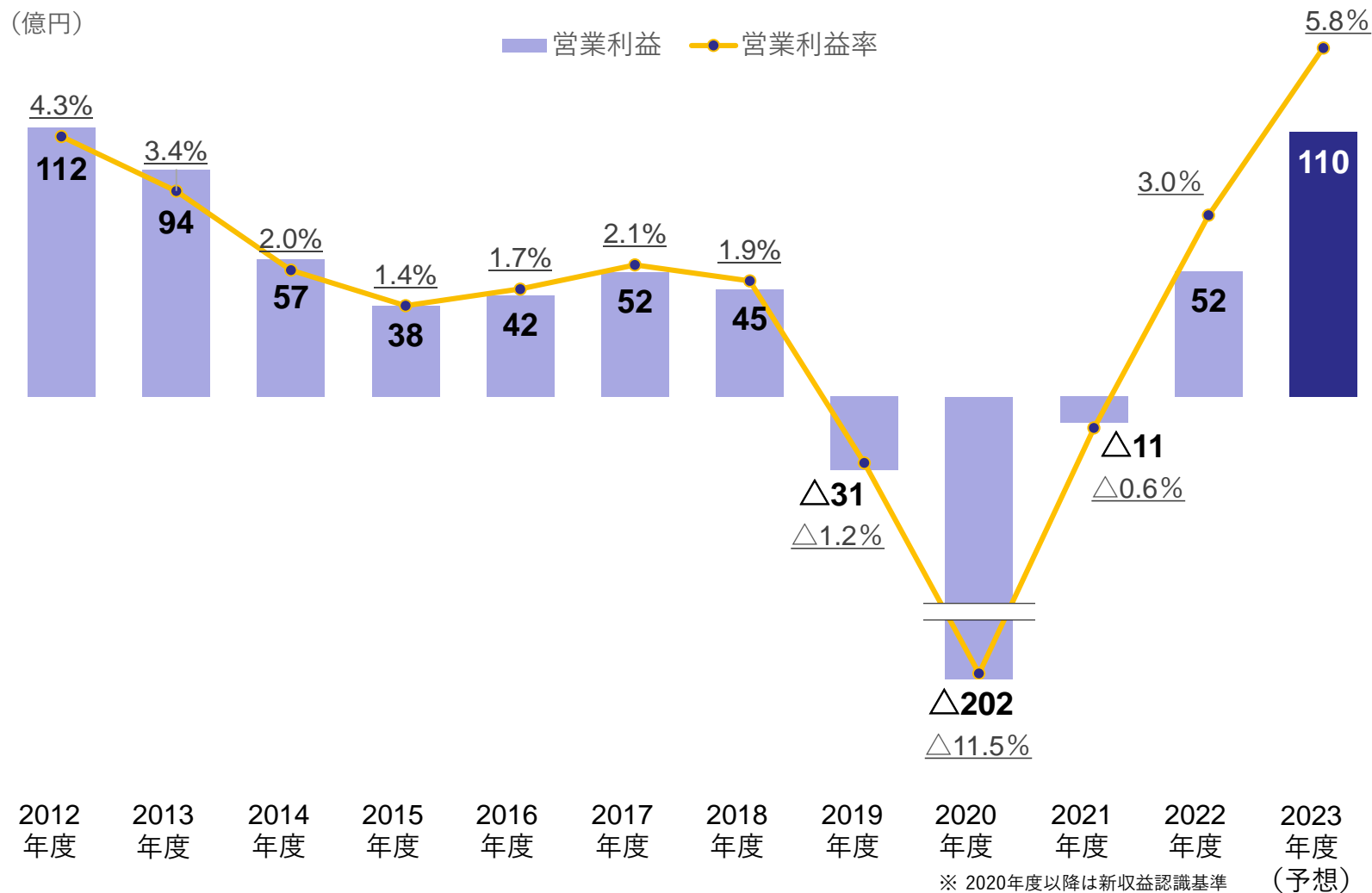
- 上期においては、顧客本位の商品開発と販売サービスの強化に注力した結果、23区、ペットパラダイスなどの主力ブランドが引き続き好調に推移。また、KASHIYAMA、UNFILOなどの新規ブランドも大きく伸長。
- OMOサービス「クリック&トライ」の利用拡大や、SNSを活用したマーケティング施策の精度が上がったことなどから、リアル店舗およびオンラインストアへの来客数が着実に増加。その結果、売上高が直近の予想を上回って伸長。
- グローバル事業構造改革の成果が顕著に現れたことや、商品サプライチェーンの効率化が進んだことなどにより、売上総利益率が引き続き上昇。一方で、ブランド複合店舗の展開による販売効率の改善などにより、販管費率が大幅に低下。
- この結果、営業利益、経常利益、当期純利益の全てにおいて、大幅な増益を実現。



- ▶ 上期の業績が直近の予想を上回って進捗したことを受けて、下期の業績予想を据え置いた上で、通期の業績予想を、第1四半期決算発表時に続き再度上方修正。
- ▶ その結果、通期の営業利益は110億円となり、2012年度以来11期ぶりに100億円を超える見通し。
- ▶ 経常利益は前期比1.9倍の100億円、当期純利益は前期比1.8倍の55億円を予想。

営業利益および営業利益率の推移

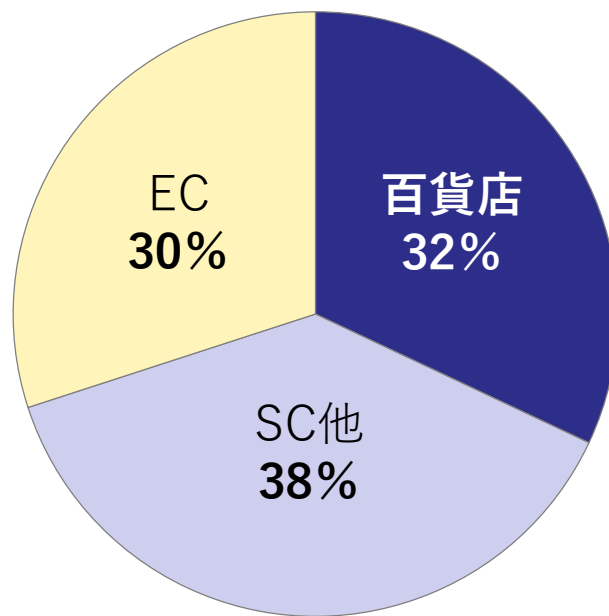
- 2023年度の営業利益は、2012年度以来11期ぶりに100億円を超える見通し。
- 2023年度の営業利益率は、2012年度以降最高の5.8%となる見通し。



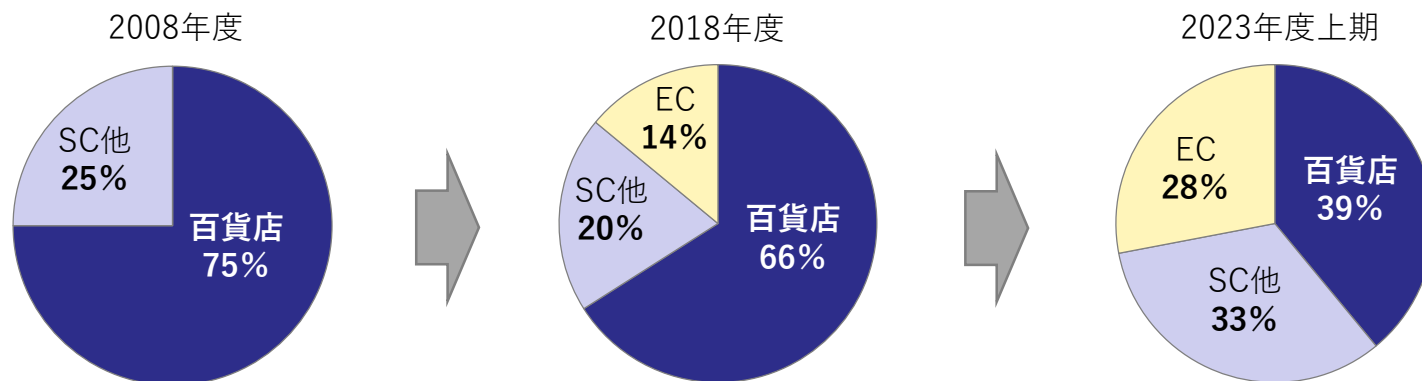
■ オンワードグループ国内9社計

(オンワード樫山、アイランド、ティアクラッセ、オンワードパーソナルスタイル、チャコット、クリエイティブヨーコ、大和、インティメイツ、KOKOBUY)

2023年度上期



(参考) オンワード樫山の販路別売上高構成比の推移



■ 配当方針

株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置づけ、配当性向の目安を35%以上とし、安定的で業績に連動した適正な利益配分を実施。

2023年度の期末配当（2024年5月予定）は、当期純利益の通期予想を再度上方修正したことに伴い、直近の予想から1円増配の17円を予想。
（2022年度の12円からは5円の増配）

■ 配当の状況

	2023年度			2022年度
	今回予想 (2023年10月)	直近予想 (2023年7月)	期初予想 (2023年4月)	
1株あたり配当金	17円	16円	14円	12円
配当金額	2,307百万	2,171百万	1,900百万	1,628百万
当期純利益	5,462百万	5,000百万	4,000百万	3,061百万
配当性向	42.2%	43.4%	47.5%	53.2%

■財務方針と目標財務指標の考え方

- ・ 持続的な企業価値の向上にむけ、資本コストを上回るリターン（利益）の実現を目指す。
- ・ 株主資本コストおよび加重平均資本コスト（WACC）を意識しつつ、自己資本利益率（ROE）・投下資本利益率（ROIC）の目標値を設定する。
- ・ 目標値の実現に向けた具体策（キャッシュアロケーション等）を明示する。

上記については、2023年度通期決算発表時（2024年4月）に公表を予定している「ONWARD VISION 2030」のアップデート版、および中期3ヶ年経営計画と合わせて開示予定。



02

2023年度上期 連結実績

uncrave

- 売上高は、前年同期から82億円増加し、904億円（+10.0％）に拡大。
- 営業利益は、売上総利益率の向上（+2.2％）と販管費率の低下（△3.2％）の結果、前年同期から48億円増加し50億円（26.0倍）、営業利益率は5.6％（+5.4％）となった。
- 当期純利益は、前年同期から24億円増加し、29億円（6.0倍）に伸長。
- EBITDAは、46億円増加し、74億円（2.6倍）に拡大。

	(百万円)	上期実績						
		2023年度	2022年度	増減額	増減率	前回予想	増減額	増減率
1	売上高	90,411	82,166	+8,245	+10.0%	90,000	+411	+0.5%
2	売上総利益 (対売上高比率)	51,152 (56.6%)	44,735 (54.4%)	+6,417	+14.3% (+2.2%)	50,980 (56.6%)	+172	+0.3% (+0.0%)
3	販管費 (対売上高比率)	46,130 (51.0%)	44,542 (54.2%)	+1,588	+3.6% (△ 3.2%)	46,980 (52.2%)	△ 850	△ 1.8% (△ 1.2%)
4	営業利益 (対売上高比率)	5,022 (5.6%)	193 (0.2%)	+4,829	+2502.1% (+5.4%)	4,000 (4.4%)	+1,022	+25.6% (+1.2%)
5	経常利益 (対売上高比率)	4,412 (4.9%)	654 (0.8%)	+3,758	+574.6% (+4.1%)	3,400 (3.8%)	+1,012	+29.8% (+1.1%)
6	当期純利益 (対売上高比率)	2,862 (3.2%)	476 (0.6%)	+2,386	+501.3% (+2.6%)	2,400 (2.7%)	+462	+19.3% (+0.5%)
7	EBITDA [※] (対売上高比率)	7,390 (8.2%)	2,838 (3.5%)	+4,552	+160.4% (+4.7%)	6,600 (7.3%)	+790	+12.0% (+0.9%)

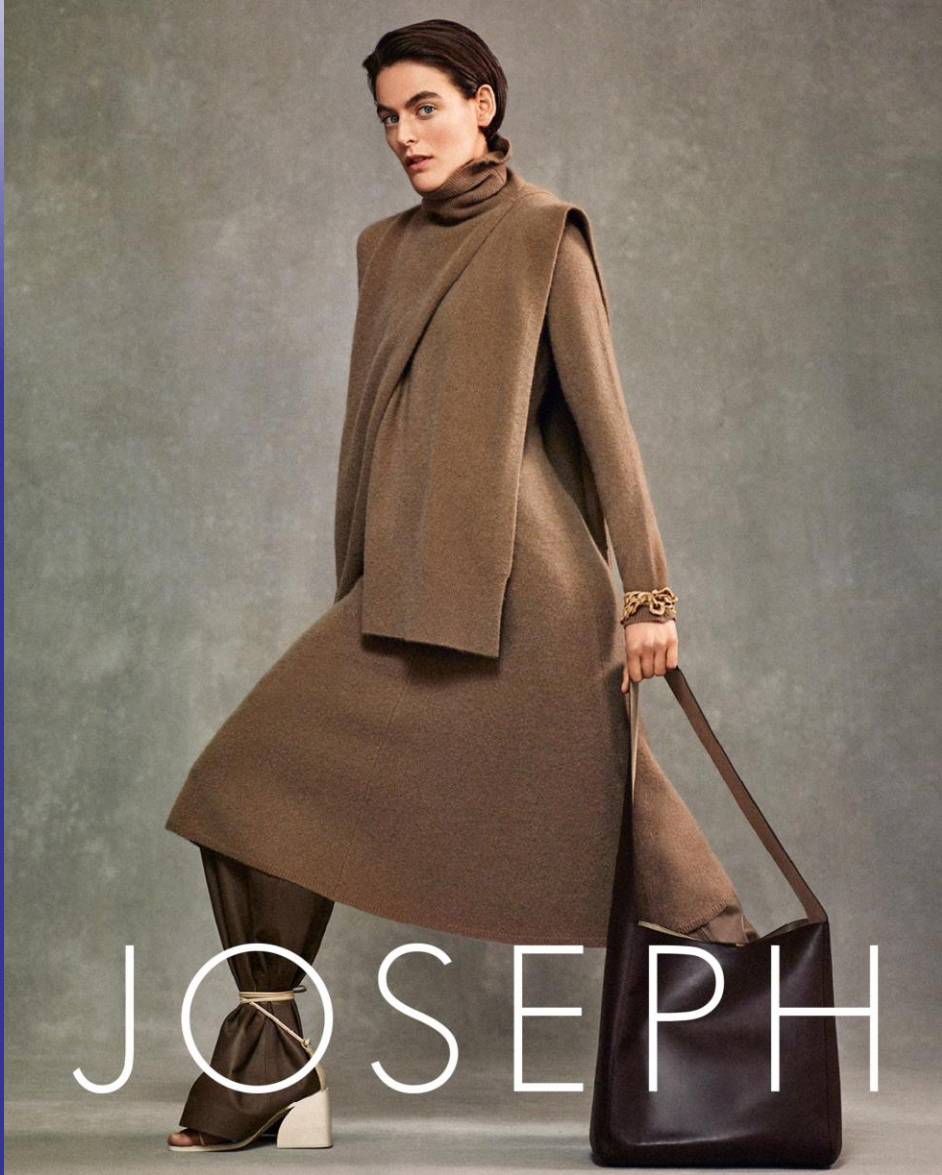
※ EBITDA（営業利益+減価償却費およびのれん償却費）

- 国内については、アパレルセグメント、ライフスタイルセグメントともに増収。営業利益はアパレルセグメントが8.2倍、ライフスタイルセグメントも+36%と大幅な増益を達成。
- 海外については、前年同期比16%の増収となり、営業損失が残るものの、営業損益は5億円の改善。

(百万円)

			上期実績						
			2023年度	2022年度	増減額	増減率	前回予想	増減額	増減率
1	アパレル	売上高	65,909	59,704	+6,205	+10.4%	65,922	△ 13	△ 0.0%
		営業利益	3,968	484	+3,484	+719.8%	3,279	+689	+21.0%
2	ライフスタイル	売上高	20,402	19,155	+1,247	+6.5%	20,557	△ 155	△ 0.8%
		営業利益	2,022	1,484	+538	+36.3%	1,968	+54	+2.7%
3	国内合計	売上高	86,311	78,859	+7,452	+9.4%	86,479	△ 168	△ 0.2%
		営業利益	5,990	1,968	+4,022	+204.4%	5,247	+743	+14.2%
4	海外合計	売上高	9,002	7,733	+1,269	+16.4%	8,613	+389	+4.5%
		営業利益	△ 640	△ 1,132	+492	↗	△ 728	+88	↗
5	連結合計	売上高	90,411	82,166	+8,245	+10.0%	90,000	+411	+0.5%
		営業利益	5,022	193	+4,829	+2502.1%	4,000	+1,022	+25.6%

※グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む



03

2023年度通期 連結業績予想

- 通期の業績予想は、上期の実績に、前回の下期予想を合算。
- 売上高は、前期から131億円増加の1,892億円（+7.5%）、営業利益は同58億円増加の110億円（2.1倍）、当期純利益は同24億円増加の55億円（1.8倍）を予想。

(百万円)		通期予想						
		2023年度	2022年度	増減額	増減率	前回予想	増減額	増減率
1	売上高	189,211	176,072	+13,139	+7.5%	188,800	+411	+0.2%
2	売上総利益 (対売上高比率)	105,952 (56.0%)	96,751 (54.9%)	+9,201	+9.5% (+1.1%)	105,780 (56.0%)	+172	+0.2% (+0.0%)
3	販管費 (対売上高比率)	94,930 (50.2%)	91,537 (52.0%)	+3,393	+3.7% (△ 1.8%)	95,780 (50.7%)	△ 850	△ 0.9% (△ 0.5%)
4	営業利益 (対売上高比率)	11,022 (5.8%)	5,214 (3.0%)	+5,808	+111.4% (+2.8%)	10,000 (5.3%)	+1,022	+10.2% (+0.5%)
5	経常利益 (対売上高比率)	10,012 (5.3%)	5,319 (3.0%)	+4,693	+88.2% (+2.3%)	9,000 (4.8%)	+1,012	+11.2% (+0.5%)
6	当期純利益 (対売上高比率)	5,462 (2.9%)	3,061 (1.7%)	+2,401	+78.4% (+1.2%)	5,000 (2.6%)	+462	+9.2% (+0.3%)
7	EBITDA [※] (対売上高比率)	16,100 (8.5%)	10,373 (5.9%)	+5,727	+55.2% (+2.6%)	15,100 (8.0%)	+1,000	+6.6% (+0.5%)

※ EBITDA（営業利益+減価償却費およびのれん償却費）

- 国内については、アパレルセグメントの売上高が前期比94億円増（+7.2%）、営業利益は44億円増（1.9倍）、ライフスタイルセグメントの売上高は同25億円増（+6.6%）、営業利益は7億円増（+26.3%）の増収増益を予想。
- 海外については、売上高が25億円増（+14.5%）、営業損失は残るものの、営業損益は7億円の改善を予想。

(百万円)			通期予想						
			2023年度	2022年度	増減額	増減率	前回予想	増減額	増減率
1	アパレル	売上高	138,877	129,525	+9,352	+7.2%	139,113	△ 236	△ 0.2%
		営業利益	9,421	5,000	+4,421	+88.4%	8,960	+461	+5.1%
2	ライフスタイル	売上高	40,431	37,926	+2,505	+6.6%	40,481	△ 50	△ 0.1%
		営業利益	3,461	2,741	+720	+26.3%	3,239	+222	+6.9%
3	国内合計	売上高	179,308	167,451	+11,857	+7.1%	179,594	△ 286	△ 0.2%
		営業利益	12,882	7,741	+5,141	+66.4%	12,199	+683	+5.6%
4	海外合計	売上高	19,743	17,250	+2,493	+14.5%	19,358	+385	+2.0%
		営業利益	△ 407	△ 1,090	+683	↗	△ 300	△ 107	↗
5	連結合計	売上高	189,211	176,072	+13,139	+7.5%	188,800	+411	+0.2%
		営業利益	11,022	5,214	+5,808	+111.4%	10,000	+1,022	+10.2%

※グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む



04

財務狀況

- EBITDAは、前年同期比46億円増の74億円に拡大。
- 純資産は、少数株主持分の減少により前期末から50億円減少。
- 自己資本比率は、前期末から0.5ポイント低下の46.5%。
- 流動比率は、100%以上を維持。借入金の増加により前期末から15ポイント低下。

EBITDA

(百万円)

2023年度 上期	2022年度 上期	増減	増減率
7,390	2,838	+4,552	+160.4%

自己資本比率

2023年度 上期	2022年度 期末	増減
46.5%	47.0%	△ 0.5%

純資産

(百万円)

2023年度 上期	2022年度 期末	増減	増減率
80,029	85,073	△ 5,044	△ 5.9%

流動比率

2023年度 上期	2022年度 期末	増減
102.2%	117.2%	△ 15.0%

■ キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前利益、および棚卸資産の増加などにより11億円の収入。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得などにより19億円の支出。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増減および配当金の支払い等により10億円の支出。

■ 設備投資

- 設備投資額は、前年同期から3億円減少の16億円。
- DX関連やOMO関連など投資を厳選し、効率的に実施。

(百万円)	2023年度 上期	2022年度 上期	増減	増減率
設備投資	1,641	1,918	△ 277	△ 14.4%

■ 減価償却費

- 減価償却費は、前年同期から3億円減少の20億円。

(百万円)	2023年度 上期	2022年度 上期	増減	増減率
減価償却費	1,957	2,243	△ 286	△ 12.8%



05

人的資本経営への取り組み

■ダイバーシティへの取り組み

女性の活躍推進「メンター制度の導入」

経営幹部候補者を育成するため、役員（メンター）が双方向の対話を通じて女性管理職（メンティ）のキャリア形成上の課題解決や悩み解消の援助をして、個人の成長をサポート。



LGBTQ理解への取り組み （オンワードコーポレートデザイン）

株式会社オンワードコーポレートデザインは、全社員対象と管理職対象のLGBTQセミナーを開催。LGBTQ等のマイノリティがアクセスしやすい窓口を設置。



■働き方デザイン

男性育休の推進

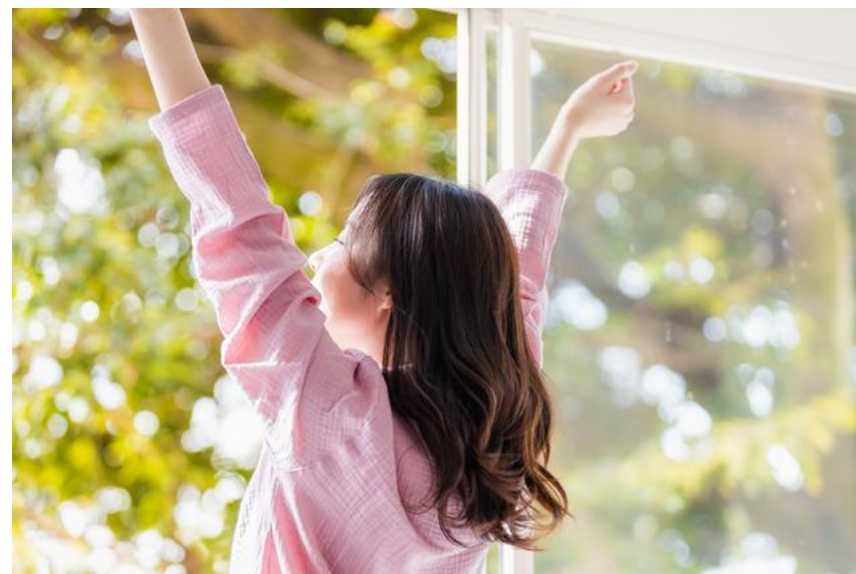
男性社員の育休取得を推進するため、プレパママセミナーや個別面談を実施。2023年度は、取得者のうち2名が10カ月～1年の長期育休を取得。



勤務間インターバル制度

前日の終業時刻と翌日の始業時刻との間を11時間確保する

「勤務間インターバル制度」を2022年9月に導入。社員の休息時間や睡眠時間を確保し、ワークライフバランスのとれた働き方をサポート。





06

サステナブル経営への取り組み

■ オンワード・グリーン・キャンペーンの拡大

衣料品のリサイクル・リユースによる循環システムを目指す「オンワード・グリーン・キャンペーン」。

2023年度上期は、衣料品回収点数が前年同期から23%増加。これまでの累計で約730万点を回収。

回収した衣料を毛布にリサイクルし寄贈

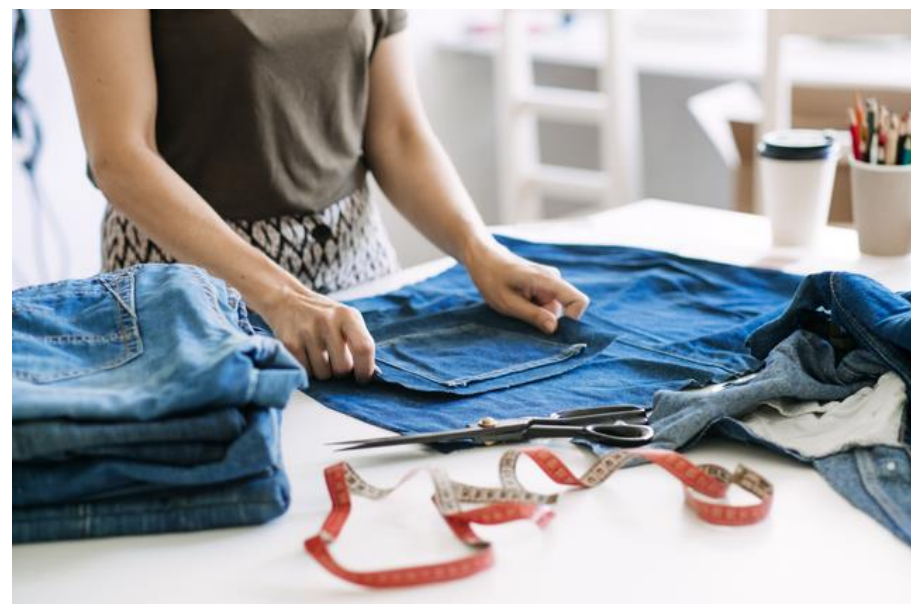


■ 回収衣料のアップサイクル・アクションをスタート

回収した衣料品を新たに生まれ変わらせる「アップサイクル・アクション」をスタート。

展示・販売イベントなどを通じて新しいサーキュラーエコノミーを提案。

● Upcycle Action ●



■ 受注生産の拡大

メンズ基幹ブランド『五大陸』において、スーツの売上高に占めるオーダーメイドの比率が、2019年度の32%から80%に上昇。無駄な在庫の削減に寄与。



■ リサイクル素材の活用

ニットシューズブランド『steppi (ステッピ)』は、使用済みペットボトルやプラスチック廃材から生まれるリサイクル素材を使用。洗濯ネットになる専用ショッパーもサステナブル素材で生産。

SUSTAINABLE



WASHABLE



23 

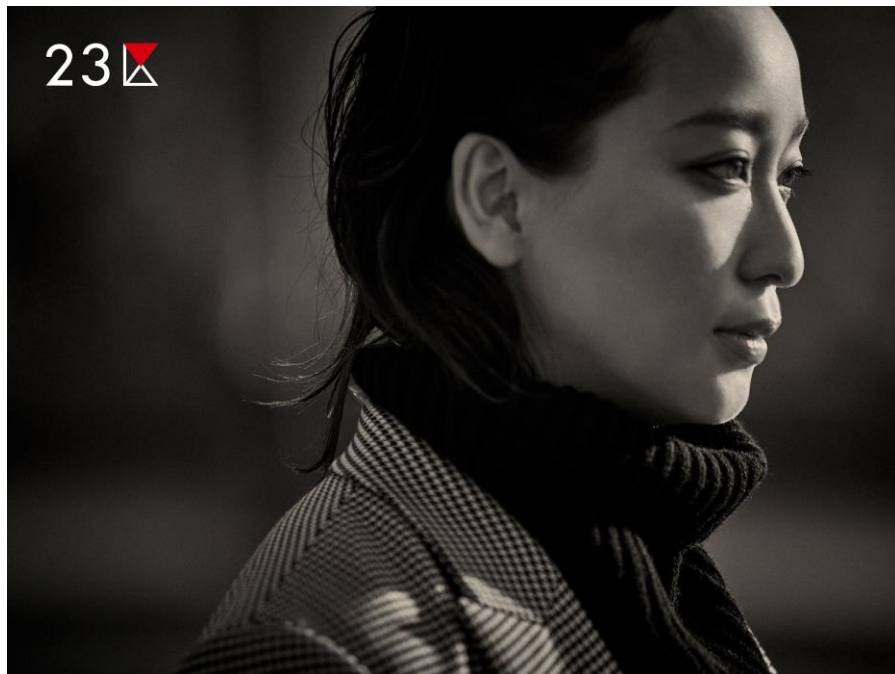


07

TOPICS

■ プロモーションの強化

ブランド創設30周年を記念し、俳優の杏さんをブランドアンバサダーに起用。様々なメディアを活用したグローバルなプロモーション活動を展開。



■ 『estèta(エステータ)』のスタート

顧客の多様なニーズに応えるため、ハイグレードな新ライン『**estèta(エステータ)**』をスタート。当社の素材調達力・生産ネットワークを駆使して、国内の縫製工場を中心に生産。



2023年9月1日にオンワード商事株式会社と株式会社オンワードクリエイティブセンターを合併し、法人ビジネスを担う中核事業会社「株式会社オンワードコーポレートデザイン」を設立。

旧オンワード商事のユニフォーム事業などの豊富なノウハウと顧客基盤、旧オンワードクリエイティブセンターの空間デザイン力を融合し、顧客企業に向けたトータルなデザインサービスを提供。

ユニフォーム事業 ANAホールディングス株式会社の国際線新ブランド「Air Japan(エアージャパン)」の初代制服



スペースクリエイト事業 「株式会社倉式珈琲」様



セールスプロモーション事業 「株式会社ファンケル」様



- 株式会社オンワードパーソナルスタイルは、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会とオフィシャルサポーター契約を締結し、ラグビー日本代表を支援。
- オーダーメイドブランド『KASHIYAMA（カシヤマ）』を通じて、ラグビー日本代表の全選手にオリジナルモデルスーツを提供。



KASHIYAMAは「ラグビー日本代表」の
オフィシャルサポーターです。





#Newans

08

補足資料

OMOサービス 「クリック&トライ」 ブランド複合型店舗 「オンワード・クロゼットセレクト」

■ 「クリック&トライ」 サービス

- ・ 導入店舗数は前年同期末から50店舗増加し360店舗。
- ・ 同サービス導入店舗(既存)の2023年度上期の売上高はコロナ前の2019年を13%上回り、未導入店舗を22ポイント上回る。

■ 「オンワード・クロゼットセレクト」

- ・ 「クリック&トライ」と併せ、ブランド複合型店舗「ONWARD CROSSET SELECT (オンワード・クロゼットセレクト)」(OCS)の展開を拡大。
- ・ OMOサービスを実装し、オンワード樺山の複数ブランドを横断的に取り揃え、ご提供。2023年度上期売上高の前年同期比は、OCSを除く既存店舗を21ポイント上回る。

■ クリック&トライ導入店舗数・予約件数の推移

	2023年度 上期末	2022年度 上期末	増減	増減率
店舗数	360	310	+50	-
導入率	51%	38%	+13%	
予約件数(千件)	58	29	+29	2.0倍

■ オンワード・クロゼットセレクト売上高比較

	2023年度上期		
	百貨店流通	SC流通	計
オンワード・クロゼットセレクト (OCS)	132%	139%	134%
OCS除く店舗	116%	106%	113%
差	+16%	+33%	+21%

廃止ブランドを除く対比

■ クリック&トライ導入店舗・未導入店舗の売上高比較

2019年度上期比	2023年度 上期	2022年度 上期
導入店舗	113%	96%
未導入店舗	91%	75%
差	+22%	+21%



イオンモール札幌発寒店

- リアル販路（百貨店+SC他）は、11%増収。
- ECは8%増収。EC化率は30%、自社EC比率は86%と高水準を維持。

(百万円)	①オンワード樫山			②国内EC対象事業会社8社 [※]			合計 (①+②)		
	売上高	構成比	前年同期比	売上高	構成比	前年同期比	売上高	構成比	前年同期比
百貨店	19,911	38.6%	+10.9%	4,894	19.5%	△ 0.8%	24,805	32.4%	+8.4%
SC他	17,171	33.3%	+15.3%	12,090	48.2%	+8.7%	29,261	38.2%	+12.5%
リアル販路計	37,082	71.9%	+12.9%	16,984	67.7%	+5.8%	54,066	70.5%	+10.6%
自社EC	12,670	24.6%	+9.6%	6,808	27.1%	+4.5%	19,478	25.4%	+7.8%
自社EC比率		87.5%			83.9%			86.2%	
他社ECモール	1,814	3.5%	+9.7%	1,305	5.2%	+5.0%	3,119	4.1%	+7.7%
EC計	14,484	28.1%	+9.6%	8,113	32.3%	+4.5%	22,597	29.5%	+7.7%
売上高計	51,566	100.0%	+12.0%	25,097	100.0%	+5.4%	76,663	100.0%	+9.7%

※Eコマースを運営している以下の国内事業会社8社

アイランド、ティアクラッセ、オンワードパーソナルスタイル、チャコット、クリエイティブヨーコ、大和、インティメイツ、KOKOBUY

23区 【オンワード樫山】

オンワード樫山の中核ブランド『23区』が引き続き大幅増収。ブランドデビュー30周年を記念したプロモーションによる販促を強化しハイグレードラインの『estèta（エステータ）』を新たに展開。



上期売上高
(前年同期比)

+ **20.3%**

23区

UNFILO 【オンワード樫山】

収益性と独自性の高い商品開発や、ヒット商品ジョグパンの広告動画配信などのデジタル販促の効果で、引き続き拡大路線。OMO型店舗での取り扱いも拡大。



上期売上高
(前年同期比)

1.7倍

UNFILO

KASHIYAMA 【オンワードパーソナルスタイル】

直営店舗の売上が大幅伸長。2023年4月にリニューアルオープンした都内最大級の吉祥寺店は好調な推移。顧客数が伸長すると同時に、顧客単価も上昇。法人ビジネスも企業ユニフォーム案件を獲得し、増収に貢献。



上期売上高
(前年同期比)

+ **19.2%**

KASHIYAMA

ペットパラダイス 【クリエイティブヨーコ】

新規出店施策が奏功し、2023年出店の3店舗はいずれも計画を上回る好調な推移。またカートやリード、暑さ対策雑貨など新規商品のヒットも増収に貢献。

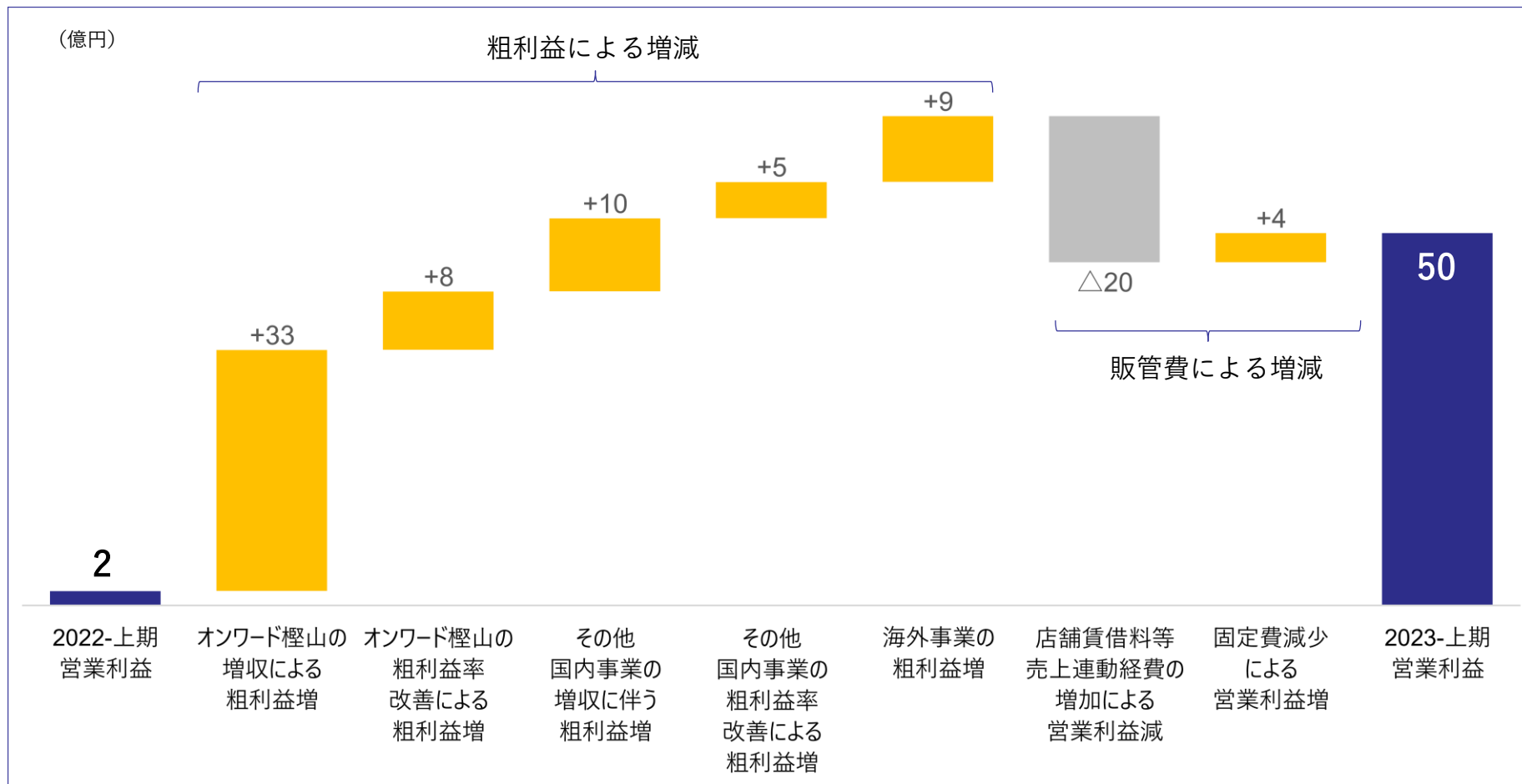


上期売上高
(前年同期比)

+ **15.9%**

PET PARADISE

2023年度上期 営業利益増減分析（対前年同期）



2023年度上期 事業会社別実績

(百万円)

			上期実績						
			2023年度	2022年度	増減額	増減率	前回予想	増減額	増減率
1	オンワード樫山+HD	売上高	51,566	46,055	+5,511	+12.0%	51,419	+147	+0.3%
		営業利益	3,210	332	+2,878	+866.9%	2,401	+809	+33.7%
2	オンワード コーポレートデザイン	売上高	7,353	6,865	+488	+7.1%	7,228	+125	+1.7%
		営業利益	822	523	+299	+57.2%	750	+72	+9.6%
3	アイランド	売上高	2,844	2,970	△ 126	△ 4.2%	2,947	△ 103	△ 3.5%
		営業利益	△ 23	22	△ 45	↘	34	△ 57	↘
4	国内アパレル計	売上高	65,909	59,704	+6,205	+10.4%	65,922	△ 13	△ 0.0%
		営業利益	3,968	484	+3,484	+719.8%	3,279	+689	+21.0%
5	チャコット	売上高	5,059	4,714	+345	+7.3%	4,976	+83	+1.7%
		営業利益	565	342	+223	+65.2%	530	+35	+6.6%
6	クリエイティブヨーコ	売上高	2,969	2,562	+407	+15.9%	2,933	+36	+1.2%
		営業利益	235	108	+127	+117.6%	184	+51	+27.7%
7	大和	売上高	10,592	10,106	+486	+4.8%	10,837	△ 245	△ 2.3%
		営業利益	999	703	+296	+42.1%	1,018	△ 19	△ 1.9%
8	国内ライフスタイル計	売上高	20,402	19,155	+1,247	+6.5%	20,557	△ 155	△ 0.8%
		営業利益	2,022	1,484	+538	+36.3%	1,968	+54	+2.7%
9	国内小計	売上高	86,311	78,859	+7,452	+9.4%	86,479	△ 168	△ 0.2%
		営業利益	5,990	1,968	+4,022	+204.4%	5,247	+743	+14.2%
10	ヨーロッパ計	売上高	4,832	4,244	+588	+13.9%	4,637	+195	+4.2%
		営業利益	△ 449	△ 514	+65	↗	△ 462	+13	↗
11	アメリカ計	売上高	936	759	+177	+23.3%	880	+56	+6.4%
		営業利益	△ 231	△ 407	+176	↗	△ 271	+40	↗
12	アジア計	売上高	3,234	2,730	+504	+18.5%	3,096	+138	+4.5%
		営業利益	40	△ 211	+251	↗	5	+35	+700.0%
13	海外小計	売上高	9,002	7,733	+1,269	+16.4%	8,613	+389	+4.5%
		営業利益	△ 640	△ 1,132	+492	↗	△ 728	+88	↗
14	連結合計	売上高	90,411	82,166	+8,245	+10.0%	90,000	+411	+0.5%
		営業利益	5,022	193	+4,829	+2502.1%	4,000	+1,022	+25.6%

※グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

2023年度通期 事業会社別業績予想

(百万円)

			通期予想						
			2023年度	2022年度(実績)	増減額	増減率	前回予想	増減額	増減率
1	オンワード樫山+HD	売上高	107,964	101,109	+6,855	+6.8%	107,858	+106	+0.1%
		営業利益	7,801	4,524	+3,277	+72.4%	6,887	+914	+13.3%
2	オンワード	売上高	16,205	14,503	+1,702	+11.7%	16,279	△ 74	△ 0.5%
		コーポレートデザイン	営業利益	1,527	1,007	+520	+51.6%	1,386	+141
3	アイランド	売上高	6,235	6,285	△ 50	△ 0.8%	6,341	△ 106	△ 1.7%
		営業利益	35	80	△ 45	△ 56.3%	152	△ 117	△ 77.0%
4	国内アパレル計	売上高	138,877	129,525	+9,352	+7.2%	139,113	△ 236	△ 0.2%
		営業利益	9,421	5,000	+4,421	+88.4%	8,960	+461	+5.1%
5	チャコット	売上高	9,573	8,849	+724	+8.2%	9,473	+100	+1.1%
		営業利益	631	342	+289	+84.5%	573	+58	+10.1%
6	クリエイティブヨーコ	売上高	6,307	5,801	+506	+8.7%	6,246	+61	+1.0%
		営業利益	582	419	+163	+38.9%	545	+37	+6.8%
7	大和	売上高	21,593	20,629	+964	+4.7%	21,836	△ 243	△ 1.1%
		営業利益	1,806	1,489	+317	+21.3%	1,827	△ 21	△ 1.1%
8	国内ライフスタイル計	売上高	40,431	37,926	+2,505	+6.6%	40,481	△ 50	△ 0.1%
		営業利益	3,461	2,741	+720	+26.3%	3,239	+222	+6.9%
9	国内小計	売上高	179,308	167,451	+11,857	+7.1%	179,594	△ 286	△ 0.2%
		営業利益	12,882	7,741	+5,141	+66.4%	12,199	+683	+5.6%
10	ヨーロッパ計	売上高	10,965	9,960	+1,005	+10.1%	10,694	+271	+2.5%
		営業利益	69	△ 136	+205	↗	108	△ 39	△ 36.1%
11	アメリカ計	売上高	1,966	1,636	+330	+20.2%	1,615	+351	+21.7%
		営業利益	△ 416	△ 576	+160	↗	△ 302	△ 114	↘
12	アジア計	売上高	6,812	5,654	+1,158	+20.5%	7,049	△ 237	△ 3.4%
		営業利益	△ 60	△ 378	+318	↗	△ 106	+46	↗
13	海外小計	売上高	19,743	17,250	+2,493	+14.5%	19,358	+385	+2.0%
		営業利益	△ 407	△ 1,090	+683	↗	△ 300	△ 107	↘
14	連結合計	売上高	189,211	176,072	+13,139	+7.5%	188,800	+411	+0.2%
		営業利益	11,022	5,214	+5,808	+111.4%	10,000	+1,022	+10.2%

※グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む。

※オンワードコーポレートデザインの前年値および前回予想（下期）には、旧オンワード商事に加え、旧オンワードクリエイティブセンターの数値を含む。

2023年度上期 連結販管費 / 当期純利益影響項目

(百万円)	2023年度上期	2022年度上期	増減率
1 人件費	18,103	18,276	△ 0.9%
2 賃借料	12,201	11,563	+5.5%
3 運賃運搬費	3,162	3,083	+2.6%
4 広告宣伝費	2,935	1,844	+59.2%
5 減価償却費	1,565	1,870	△ 16.3%
6 その他	8,164	7,906	+3.3%
7 販管費計	46,130	44,542	+3.6%

(百万円)	2023年度上期	2022年度上期	増減率
8 営業利益	5,022	193	+2502.1%
9 営業外収益	317	1,116	△ 71.6%
10 受取利息・配当金	150	119	
11 為替差益		708	
12 その他	166	287	
13 営業外費用	927	655	+41.5%
14 支払利息	269	131	
15 為替差損	473		
16 持分法による投資損失		34	
17 その他	183	489	
18 営業外損益計	△609	461	-
19 経常利益	4,412	654	+574.6%
20 特別利益	362	1,455	
21 投資有価証券売却益	362	120	
22 関係会社株式売却益		1,306	
23 その他		28	
24 特別損失	385	485	
25 減損損失	242	470	
26 その他	142	15	
27 特別損益	△23	970	
28 税前利益	4,390	1,624	+170.3%
29 法人税等	1,382	1,342	
30 少数株主損益	144	△194	
31 当期純利益	2,862	476	+501.2%

【当期純利益影響項目】

- 受取利息・受取配当金等による営業外収益3億円
- 為替差損、支払利息等により営業外費用は9億円
- 投資有価証券売却による特別利益4億円
- 減損損失等による特別損失4億円
- 法人税等は、業績向上により将来課税所得の増加が見込まれ、繰延税金資産の計上に伴い税負担率が低下。
- 以上の結果、当期純利益は29億円となった。

2023年度上期 連結貸借対照表

(億円)	2023年度上期末	2022年度末	前期末比±	増減要因
1 資産合計	1,607	1,591	+16	
2 流動資産	641	622	+19	
3 現金及び預金	123	138	△ 15	
4 売掛金	123	139	△ 16	
5 棚卸資産	349	307	+42	売上高拡大に向けた積極的な仕入による増加
6 固定資産	965	969	△ 4	
7 有形固定資産	535	531	+4	
8 無形固定資産	87	91	△ 4	
9 投資その他の資産	342	347	△ 5	
10 負債合計	807	741	+66	
11 買掛金	211	214	△ 3	
12 借入金	355	272	+83	新規借り入れによる増加
13 その他	240	255	△ 15	
14 純資産合計	800	850	△ 50	少数株主持分の減少
15 自己資本比率	46.5%	47.0%	△ 0.5%	
16 流動比率	102.2%	117.2%	△ 15.0%	

2023年度 グループ別上期実績・通期予想

(百万円)		上期実績				通期予想				
		2023年度	2022年度	増減額	増減率	2023年度	2022年度	増減額	増減率	
オンワード +H D 榎山	1	売上高	51,566	46,055	+5,511	+12.0%	107,964	101,109	+6,855	+6.8%
	2	売上総利益 (売上比)	31,245 (60.6%)	27,158 (59.0%)	+4,087	+15.0% (+1.6%)	64,969 (60.2%)	60,068 (59.4%)	+4,901	+8.2% (+0.8%)
	3	販管費 (売上比)	28,035 (54.4%)	26,826 (58.2%)	+1,209	+4.5% (△ 3.9%)	57,168 (53.0%)	55,544 (54.9%)	+1,624	+2.9% (△ 2.0%)
	4	営業利益 (売上比)	3,210 (6.2%)	332 (0.7%)	+2,878	+866.9% (+5.5%)	7,801 (7.2%)	4,524 (4.5%)	+3,277	+72.4% (+2.8%)
国内小計 (オンワード榎山+H D除く)	5	売上高	34,745	32,804	+1,941	+5.9%	71,344	66,342	+5,002	+7.5%
	6	売上総利益 (売上比)	17,626 (50.7%)	16,156 (49.3%)	+1,470	+9.1% (+1.5%)	35,858 (50.3%)	32,516 (49.0%)	+3,342	+10.3% (+1.2%)
	7	販管費 (売上比)	14,846 (42.7%)	14,520 (44.3%)	+326	+2.2% (△ 1.5%)	30,777 (43.1%)	29,299 (44.2%)	+1,478	+5.0% (△ 1.0%)
	8	営業利益 (売上比)	2,780 (8.0%)	1,636 (5.0%)	+1,144	+69.9% (+3.0%)	5,081 (7.1%)	3,217 (4.8%)	+1,864	+57.9% (+2.3%)
海外小計	9	売上高	9,002	7,733	+1,269	+16.4%	19,743	17,250	+2,493	+14.5%
	10	売上総利益 (売上比)	4,047 (45.0%)	3,161 (40.9%)	+886	+28.0% (+4.1%)	9,147 (46.3%)	7,552 (43.8%)	+1,595	+21.1% (+2.6%)
	11	販管費 (売上比)	4,687 (52.1%)	4,293 (55.5%)	+394	+9.2% (△ 3.4%)	9,554 (48.4%)	8,642 (50.1%)	+912	+10.6% (△ 1.7%)
	12	営業利益 (売上比)	△ 640 -	△ 1,132 -	+492	↗	△ 407 -	△ 1,090 -	+683	↗



ONWARD

ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は
一切責任を負いませんのでご承知おきください。